

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	小田原市農業協同組合		
117	生産販売部			
※記入不要				
要望問題 白加賀の果実肥大技術の開発について				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
<p><背景> 梅酒用の白加賀は早期の大玉の価格が良い。 しかし、天候不良などにより、肥大の不足のため早期出荷が図れない年がある。</p> <p><内容> 現在、摘果により果実肥大を行っているが、調節剤（フルメット等）の使用により果実肥大を促進し早期出荷を図れないか検討いただきたい。</p> <p><対象地域> JAおだわら管内</p>				
解決希望年限	①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応	②委託研究	③共同研究	④その他
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター			

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所			
部 署	生産技術部			
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施	<input type="checkbox"/> ②実施中	<input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討	<input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)			
対応の内容等				
<p>平成15年度、農総研ではウメのヤニ果対策として、葉面散布剤の効果について試験しております。この葉面散布剤は、ヤニ果の発生軽減とともに果実肥大効果があるとされており、本年の試験結果からは、ヤニ果発生軽減よりも、むしろ果実肥大効果が見られております。これら植物生長調節剤に該当しない特殊肥料等の利用により、果実肥大を図る方向で検討いただければと思います。当所としても効果の確認について協力いたします。</p> <p>ご提案の主旨は大変よく分かりますが、ウメ果実への処理方法、仮に散布した場合のサイトカイニン剤の樹体への影響等技術的な問題、効果が確認された後の農薬登録の問題、健康食品としてのウメのイメージへの影響など、慎重に検討する必要があると思われまます。</p>				
解決予定年限	①1年以内	②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
備考				